

# 令和4年度 学校評価資料（生名小学校の取組）

上島町立生名小学校

地域づくりの理念：すべての地域住民が、暮らし、暮らし和える地域  
 学校教育の理念：変化に主体的に対応し、未来を創る児童の素地を培う教育  
 [学校の教育目標]

自ら学び、支え合い、たくましく生きる児童の育成

校訓：元気な子、正しい子、がんばる子

目 指 す 児 童 像	目 指 す 教 職 員 像	目 指 す 学 校 像
<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 自ら学ぶ児童</li> <li>○ 自他を大切にする児童</li> <li>○ 最後までがんばる児童</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 自ら求め学び続ける教職員</li> <li>○ 児童の良さを伸ばす教職員</li> <li>○ 信頼される教職員</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 地域とともにある学校</li> <li>○ 楽しく温もりのある学校</li> <li>○ 創意と活力のある学校</li> </ul>

## 評価項目と主な取組

### 指標1 教育目標『自ら学び支え合いたくましく生きる児童の育成』達成のための主な取組

- 「教室は間違えるところ」という意識を全員が持ち、安心して発言できる雰囲気大切にしている。
- 一人一人の児童が発表の機会や体験できる機会が多くなるように、話し合いや体験活動を多く取り入れるようにしている。
- 体験から生まれた問いに対して、すぐに答えを教えるのではなく、比較させたり、以前の体験を思い出させたりして、自己解決を図るように助言している。

### 指標2 子どもたちの学力を定着・向上させるための主な取組

- 授業での集団づくりを大切に、「わからない」といえる学級の雰囲気づくりに努めている。
- 朝の活動の時間や授業、家庭学習において、上島町で取り組んでいる「みんなの学習クラブ」（iブリ）を活用し、漢字・計算の習熟を図る問題や授業内容の復習を行い、基礎・基本の定着を図るようにしている。

### 指標3 分かりやすい授業づくりに関する主な取組

- 各時間の「めあて」を明確にした授業の展開や、一人一人の実態に即した授業を展開している。
- 学習したことがひと目で分かるような板書を工夫している。
- 振り返りの時間に、学習して分かったことを自分の言葉でまとめたり、感想を伝え合ったりする力を身に付けるようにしている。
- 視覚化できる教具やデジタル教科書などを大型テレビに映し出したり、インターネットや動画配信を授業で使用したりして、ICT機器を効果的に活用している。

### 指標4 個に応じた細かな指導の充実を図る主な取組

- 子どもの能力に応じた適切な指導を工夫し、学習面で配慮を要する児童には特別支援教育支援員のサポートを得ながら指導に当たっている。
- タブレット端末で「eライブラリ」に取り組み、それぞれの進捗に合わせたプリントを学習するなど、個別指導の時間を設けている。

### 指標5 言語活動の充実を図る主な取組

- 全校スピーチや全校ミーティングにおいて、小集団や全校児童の前で自分の意見を発言したり、自分の考えと他人の考えを比較したりして思考力、表現力を高めている。
- 各教科で伝え合う時間を設定し、指導過程や学習形態を工夫しながら授業実践に取り組んでいる。
- 行事の後には、活動を振り返って感想等にまとめる時間を設け、書く力の定着を図ったり、感想を交流し合ったりして言語活動の充実に努めている。

### 指標6 学年に応じた時間(10分×○学年+10分)、家で宿題や自主学習、読書などをさせるための主な取組

- 年度始めに「家庭学習の手引き」を児童と保護者に配布し、家庭学習への取り組み方を伝えている。
- 宿題の意義を説明し、学習習慣を付けることの大切さに気付かせるようにしている。
- 家庭で、児童の音読を音読カードを基に聞いてもらったり、九九やたし算、ひき算などの計算を聞いてもらったりするなど、保護者に協力していただく宿題を出している。
- 月に一度「生活学習習慣調べ」を行い、家庭での学習時間を記入したり、保護者のコメントを書いてもらったりして、家庭との連携を図っている。
- 自主学習ノート(ぐんぐんノート)を作成し、積極的に学習に取り組めるようにしている。また、学習の仕方を工夫している児童など、お手本になるノートを紹介したり、しっかりと取り組んでいる児童を称揚したりすることで、宿題+αをしてくる児童が増えてきている。

### 指標7 子どもたちが元気に生き生きと楽しく学校生活を送るための主な取組

- 休み時間は、学年の垣根を越えて遊ぶ習慣が根付いており、いろいろな学年の児童同士で関わるようにしている。
- 異年齢集団活動(以下、なかよし班活動)を通して話し合い活動や様々な行事に臨んだり、学習の成果を異学年同士で発表し合ったりするなど、学校生活を豊かに送ることができるように工夫している。
- 朝の活動の時間(サーキットトレーニングやランニング、ボール投げ、長縄など)や体育の授業で、

みんなで体を動かすことの楽しさを実感できるようにしている。

- 課外活動（陸上、駅伝、トランペット鼓隊、ポンポン隊）に中学年以上（ポンポン隊は低学年）が原則として全員参加し、練習を通して互いに励まし合い、自分の目標に向かって努力することの大切さを学んでいる。

#### 指標 8 授業や学校行事を通して、地域の自然や文化、人材を活用する主な取組

- 学校支援ボランティアの方による読み聞かせなどを地域の方々と連携して実施することができている。
- 亥の子、とんどなどの地域の行事は、PTAが中心となり、地域の方にもご協力いただきながら、児童が昔の伝統行事に関心を持ち、児童が地域のことをよりよく理解できる活動となっている。
- 運動会のはんじき踊りに地域の方をお招きし、ご指導いただいている。
- 全校での「海藻アート」、「海辺の活動」など、地域の自然に触れる活動を通して、地域の自然のすばらしさを学ぶことができている。
- 三世代交流活動や低学年の生活科では、「なごみ会」の方といろいろな遊びを通して、お年寄りとの触れ合いを大切にしている。

#### 指標 9 望ましい人間関係づくりや自他を大切にす教育の充実を図るための主な取組

- 帰りの会等で「良いところ見つけ」を行い、友達の良いところに目を向け、積極的に友達の良いところ見つけようとする態度を育てている。
- 教職員は、日常生活や授業の中で、児童の良さや小さな成長を見付けて褒めるよう心掛けている。
- 自尊感情について、2つの側面（自信、積極性、できるという気持ち、自分を大切に思う気持ちの側面、劣等感、消極性、できないと思う気持ち、自分をみじめだと思ふ気持ちの側面）があると捉え、両側面をバランスよく育てていくことに重点を置いている。
- 児童の実態について、全教職員で共通理解を図り、全教職員で全校児童を見守っていこうという姿勢で臨んでいる。

#### 指標 10 障がいのある方をはじめ様々な立場の人との関わりを大切にし、人権意識の高揚を図るための主な取組

- 上島ポップコーンの会との交流を通して、様々な状況にある人たちと共によりよく生きることや多様性を認めることへの視野を広げている。
- なかよし班活動を通して、上級生や下級生と進んで関わり、積極的に声を掛け合ったり、互いの意見を尊重したりして思いやりの心や積極性、協調性を育てている。
- 生名地区地域ふれあい学習会を通して、学校、家庭（保護者）、地域が一体となって、地域の人権課題について学ぶ機会を設けている。
- 教職員は、自らの人権感覚を高められるよう、日々自己研鑽に励むとともに、人権・同和教育参観日や学校公開日、学校公開週間等で、授業公開を行っている。

#### 指標 11 配慮を要する児童のことを理解し、適切な支援を行い、充実した学校生活を送れるようにするための主な取組

- 特別支援教育の視点に立ち、各学級の配慮を要する児童について実態把握、課題及び対応等について全教職員で話し合う場を設け、共通理解を図っている。
- 配慮を要する児童について、全教職員で情報を共有し、指導に当たっている。
- 特別支援教育支援員による記録簿に目を通し、児童の困り感を理解し、寄り添うようにしている。
- 配慮を要する児童の様子を記録し、養護教諭と連携して支援している。
- 特別な配慮を要する児童に関して、外部機関と情報交換を図りながら連携を取っている。

指標 1 2 児童に、早寝・早起き・朝ご飯や手洗い・うがい・歯みがきの生活習慣を身に付けさせるための主な取組

- 月に一度「生活学習習慣調べ」を行い、基本的な生活習慣に関する項目をチェックしてもらったり、保護者のコメントを書いてももらったりして、家庭との連携を図っている。
- 6月に今治保健所と連携して、歯みがき教室を行い、適切な歯の磨き方が身に付くようにしている。
- 食物アレルギー等に配慮しながら、嫌いな物でも食べた児童を称揚し、少しでも食べてみようという雰囲気作りをしたり、言葉掛けをしたりして残さず食べるという習慣を身に付けさせたりしている。

指標 1 3 気持ちの良い挨拶や礼儀正しい言動などができるための主な取組

- 朝の登校指導で、児童が自発的に挨拶するように働きかけている。
- 児童の登校時に教員が正門の近くで挨拶をして、習慣化を図っている。
- 少人数の良さを生かし、一人一人の名前を呼んで挨拶するようにし、お互いを認め合えるようにしている。
- 運営・放送委員会が中心となって挨拶運動を実施し、大きな声で気持ちの良い挨拶ができるよう呼び掛けている。
- 各学級の朝の会・帰りの会や全校での登下校指導等を通して、挨拶の意義や礼儀正しい言動について指導している。
- 授業中、教師や友達に丁寧な言葉遣いができるように指導している。

指標 1 4 交通ルールやマナーを守って安全に生活できるための主な取組

- 登下校の時に、教員が集団登下校を一緒に行ったり、巡回したりして、安全に登下校するように指導や見守り活動を実施している。
- 黄色いビブスを着た地域の見守り活動の方々に協力を得て、児童の様子を見守っていただいたり、ご意見をいただいたりしている。
- 年度始めに交通安全教室を実施し、生名駐在所の駐在員さんや交通安全協会の方々から自転車の乗り方や道路の歩き方について学習している。

指標 1 5 将来の夢や希望について考えさせるための主な取組

- 将来への展望を具体的に描けるように、自身の変容や成長を自己評価できるよう工夫されたポートフォリオ（キャリアパスポート）を活用している。
- 卒業面接ガイドを活用し、小学校卒業までに身に付けておくべき基本的な言動や身だしなみについて

指導するとともに、将来の夢や希望について考える機会を設けている。

- 6年児童を対象に、卒業前に校長面接を行い、中学校へ向けての期待を高めている。
- 6年生の総合的な学習の時間において、今までの自分やこれからの自分について考える時間を取り入れている。

#### 指標 16 いじめや不登校に対応するための主な取組

- 子ども同士のトラブル等は、すべて学びのチャンスだと捉えて、教員が一つ一つ丁寧にに関わり、子どもの成長につなげている。
- 全教職員が様々な場面で児童と関わり、児童との信頼関係の構築に努めている。
- なかよし班活動を多く取り入れることで、上の学年が下の学年に優しく接する中で仲間意識が育ち、柔軟な社会性が身に付くようにしている。
- 毎月、心のアンケートをもとに教育相談を行ったり、hyper-Q-U 検査（よりよい学校生活と友達づくりのためのアンケート）を活用したりして、児童の実態を把握し、いじめや不登校の早期発見、早期対応の手立てとしている。
- いじめ撲滅アピール宣言を毎朝唱和し、いじめを許さない雰囲気づくりに努めている。

#### 指標 17 災害や不審者などに対して、安心して子どもを預けられる安全面に配慮するための主な取組

- 地震、津波、火災、不審者等の避難訓練を定期的、非定期的に実施し、実施後は反省を行い、児童が自ら行動できるよう少しずつ改善している。
- 安全点検の方法について見直しを図り、細かい箇所まで複数の目でチェックし、予算の範囲内で修繕などの対応を迅速に行い、安全な環境づくりに努めている。
- 冬季の下校時は、蛍光たすきを身に付けさせたり、防犯ブザーの使い方の指導や点検をしたりして、自分の身は自分で守る意識を高めている。
- 登下校中にある「まもるくんの家」を確認し、いざというときの行動が取れるようにしている。

#### 指標 18 健康で安全な生活を送ろうとするための主な取組

- 休み時間に外で元気よく遊ぶよう声掛けをしたり、ボールや一輪車、竹馬がいつでも使えるようにしたりしている。
- 昼休み等はできるだけ教職員が外に出て児童と一緒に遊ぶなど、児童の健康づくりを促進している。
- 生名スポレクのインストラクターの方を招いて小児生活習慣病予防教室を実施し、身体を動かすことの大切さを学んでいる。
- 課外活動（陸上、駅伝）に中学年以上が原則として全員参加し、練習を通して健康や体力の向上に努めている。

#### 指標 19 清掃や花、植木の手入れ等、校庭や校舎の環境整備のための主な取組

- 縦割り清掃を行い、上学年が中心となって清掃の仕方を下学年に伝えたり、協力して行ったりして、校内美化に努めている。
- 環境・図書委員会が中心となり、毎朝の水やりなど栽培活動を実践している。

指標 2 0 保護者や地域の方に温かく接したり、適切に連携を図ったりすることによる、開かれた学校づくりのための主な取組

- 地域の方に笑顔で挨拶している。
- 来校者、電話には、丁寧に且つ適切に対応している。
- 学校で起こった事故、問題に対しては、必ず保護者へ連絡し、適切に対応する。

指標 2 1 学校を理解してもらうための情報を発信したりするための主な取組

- ホームページの更新により、新しい情報を発信し、保護者や地域の人に学校の教育活動を知ってもらうことができている。
- 学校便りや学級通信、P T Aの広報誌等で、積極的に児童の様子や感想等を紹介するようにしている。
- 学校公開日や学校公開週間を設け、保護者や地域の方に気軽に学校へ足を運んでいただき、児童の様子を見ていただくようにしている。
- 年に4回、学校運営協議会を実施し、地域の方々に学校運営に参画していただき、ご意見をいただいている。

指標 2 6 新型コロナウイルス感染症対策の主な取組

- 「学校における新型コロナウイルス感染症に関する衛生管理マニュアル～『学校の新しい生活様式』」(文部科学省)に基づいて、教育活動に取り組んでいる。
- 三密回避や手洗い、マスクの着用の徹底を注意喚起している。
- 毎朝の健康観察を丁寧に行うとともに、家庭からの健康観察カードをチェックし、児童の体調管理に十分留意している。
- 積極的に体を動かし、健康な体づくりに努めている。
- 養護教諭を中心に毎日、校内の消毒に努めている。